



## 第38回 大阪府作業療法学会

### 最優秀賞 殿内 優斗 (京都民医連あすかい病院)

新人リハビリテーション職員教育にAI技術を応用した我々の研究が、学びの原点であるこの場所で、このように高く評価されたことに深く感動しています。さらに、私の母校である藍野大学で、学生時代から多くのご指導をいただいた恩師である学会長より直接賞をいただいた事は、忘れられない感動的な瞬間となりました。この受賞を新たな励みとし、AI技術を活用したリハビリテーション教育のさらなる可能性を探求してまいります。



### 優秀賞 伊村 祐奈 (北野病院)

初めての学会発表だったのでとても緊張しましたが、賞をいただくと報告を聞いた時は心の底から喜びました。学会発表とは無縁だと思っていましたが、働きはじめて2年目になった時に、なにか自分の好きな分野を見つけたいと思い、興味を持ったのが神経難病でした。アイデア次第で患者さんを喜ばせることもできるOTになれて本当に良かったなと思います。今後も学会発表に参加し、OTの高みを目指していきたいです。



### 優秀賞 上林 享平 (阪南市民病院)

今回の報告では、中等度の上肢運動麻痺に対して体外衝撃波治療を用いて痙縮を抑制し、複合的に介入した一症例を紹介させて頂きました。この介入結果から体外衝撃波治療との併用療法の質を高めて、より上肢機能改善と麻痺側上肢の参加を促進させる可能性が考えられました。今後はさらに多くの症例を通じて、広く臨床に応用できる方法を模索していきたいと考えています。

